

## 第 229 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2022 年 11 月 17 日（木）午前 10 時 00 分～11 時 43 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤佳孝、小路直彦、小浪尊宏、野口貴文（委員長）、橋本政彦（五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果																								
1. 前回議事概要の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前回議事概要案が承認された。</li> </ul>																								
2. 「積算資料」12 月号土木系資材の価格変動の妥当性について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審査対象資材のうち、12 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</li> </ul> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; width: 25%;">&lt;品目&gt;</th> <th style="text-align: center; width: 25%;">【地区】</th> <th style="text-align: center; width: 50%;">(理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3"><b>【上伸した資材】</b></td> </tr> <tr> <td>鉄スクラップ</td> <td>仙台、東京、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、高松</td> <td>市中発生産量は依然低調だが、海外需要が振るわず、国内電炉メーカーも生産見合いの調達姿勢のため、需給はほぼ均衡。在庫量確保のため、電炉メーカーが購入価格を引き上げ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>セメント</td> <td>仙台、静岡、名古屋、津、大阪、神戸、中国、九州（宮崎除く）、那覇</td> <td>製造コスト増加を理由にメーカーが昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。大阪、神戸は今年 10 月からの追加値上げの一部も併せて浸透。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>盛岡</td> <td>原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。10 月の追加値上げを前に売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>仙台</td> <td>原材料コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>宇都宮</td> <td>製造コスト増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、秋口以降、堅調な需要を背景に交渉が進展し、市況上伸。</td> </tr> <tr> <td>生コンクリート</td> <td>東京</td> <td>原材料コスト等増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。9 月以降、新規工事発注が進むにつれ値上げが浸透し、市況上伸。</td> </tr> </tbody> </table>	<品目>	【地区】	(理由)	<b>【上伸した資材】</b>			鉄スクラップ	仙台、東京、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、高松	市中発生産量は依然低調だが、海外需要が振るわず、国内電炉メーカーも生産見合いの調達姿勢のため、需給はほぼ均衡。在庫量確保のため、電炉メーカーが購入価格を引き上げ、市況上伸。	セメント	仙台、静岡、名古屋、津、大阪、神戸、中国、九州（宮崎除く）、那覇	製造コスト増加を理由にメーカーが昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。大阪、神戸は今年 10 月からの追加値上げの一部も併せて浸透。	生コンクリート	盛岡	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。10 月の追加値上げを前に売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。	生コンクリート	仙台	原材料コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。	生コンクリート	宇都宮	製造コスト増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、秋口以降、堅調な需要を背景に交渉が進展し、市況上伸。	生コンクリート	東京	原材料コスト等増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。9 月以降、新規工事発注が進むにつれ値上げが浸透し、市況上伸。
<品目>	【地区】	(理由)																							
<b>【上伸した資材】</b>																									
鉄スクラップ	仙台、東京、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、高松	市中発生産量は依然低調だが、海外需要が振るわず、国内電炉メーカーも生産見合いの調達姿勢のため、需給はほぼ均衡。在庫量確保のため、電炉メーカーが購入価格を引き上げ、市況上伸。																							
セメント	仙台、静岡、名古屋、津、大阪、神戸、中国、九州（宮崎除く）、那覇	製造コスト増加を理由にメーカーが昨年後半打ち出した値上げの未達分について、売り腰を強め、市況上伸。大阪、神戸は今年 10 月からの追加値上げの一部も併せて浸透。																							
生コンクリート	盛岡	原材料、輸送コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。10 月の追加値上げを前に売り腰を強めた結果、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。																							
生コンクリート	仙台	原材料コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、セメント価格高騰から非組合員も値上げに追随し、市況上伸。																							
生コンクリート	宇都宮	製造コスト増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。当初、非組合員との競合もあり交渉は難航したが、秋口以降、堅調な需要を背景に交渉が進展し、市況上伸。																							
生コンクリート	東京	原材料コスト等増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。9 月以降、新規工事発注が進むにつれ値上げが浸透し、市況上伸。																							

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	生コンクリート 静岡	原材料、輸送コスト増加を理由に組合が今年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、堅調な需要を背景に売り腰を強め、今年 8 月に続き、市況上伸
	生コンクリート 鳥取	出荷量減少、原材料コスト増加を理由に組合が昨年 10 月より打ち出した値上げの未達分について、非組合員との競合緩和から売り腰を強め、今年 8 月に続き、市況上伸。
	生コンクリート 山口	原材料コスト増加を理由に組合は今年 7 月より値上げを打ち出す。域内に非組合員工場はなく、秋口以降、新規工事発注が進むにつれ交渉が進展し、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目) (細目) 千葉、東京、横浜	製造コスト、運搬コスト増加を理由に販売業者は値上げを打ち出す。都心部の大規模再開発事業等で需要堅調な中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目) (細目) 熊本	県外海砂採取業者からの調達コスト増加を理由に県内の販売業者が今年 4 月より値上げを打ち出す。今年 8 月の生コン市況上伸を受けて需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 福岡	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。堅調な需要を背景に足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 佐賀	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、10 月の一部メーカーの工場閉鎖により需給がひっ迫し、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン 熊本	製造コスト増加を理由に砕石協組は今年 7 月より値上げを打ち出す。半導体工場建設工事等で需要が堅調な中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	再生クラッシュラン 盛岡	燃料費高騰による重機や運搬コスト増加を理由にメーカーが今年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、堅調な需要を背景に売り腰を強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	再生クラッシュラン 熊本	製造コスト増加を理由に砕石業者、中間処理業者等は今年4月より値上げを打ち出す。需要が堅調で需給がひっ迫する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	PHC パイル 札幌	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、夏以降さらなる原材料コスト増加を受けて売り腰を強め、市況上伸。
	鋼矢板リース料金 全国	鋼材価格上昇を受けて重仮設リース業者は昨年度末以降、値上げを打ち出す。足並みをそろえて交渉を進めた結果、徐々に値上げが浸透し、市況上伸。
	再生加熱アスファルト混合物 金沢、静岡、名古屋、鳥取、松江、岡山、広島、長崎、熊本	ストアス等の原材料コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。秋以降、新規工事が発注されるにつれ売り腰を強め、市況上伸。
	ストレートアスファルト 那覇	沖縄地区では、県内唯一の油槽所を有するメーカーが9月以降の原油調達コスト上昇を反映して値上げを実施し、市況上伸。
	鉄筋コンクリートU形、自由勾配側溝RCボックスカルバートベンチフリューム 仙台	原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、下期以降さらなる製造コスト増加を受けて売り腰を強め、市況上伸。
	ヒューム管外圧管B形1種 新潟	製造コスト増加を理由にメーカーは今年5月より値上げを打ち出す。域内にメーカーが少なく1社がシェアの大半を占める中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	ヒューム管外圧管B形1種 鳥取	県内メーカーは県発注工事で使用されるスラグ利用の「鳥取県認定グリーン商品」を製造。JIS製品は島根県のメーカーから供給され、今年4月より打ち出した値上げが浸透し、市況上伸。
	RCボックスカルバート 広島	需要減少と製造コスト増加を理由にメーカーは今年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、需要回復が見込めない中、さらなる製造コスト増加から売り腰を強め、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
<p>○東京地区の生コンクリートについて、値上げ交渉の際に現在の契約ベースから出荷ベースへの契約形態の変更も求めているという話があったが、実現している地区はあるのか。</p> <p>○今回生コン価格が上昇した鳥取地区では、出荷量の減少に伴って、組合の工場数が大幅に減少しているが、その背景は。</p> <p>3. 「積算資料」12月号建築系資材の価格変動の妥当性について</p>	<p>ベンチフリーウム 前橋、さいたま、長野</p>		<p>原材料、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年度から今年度にかけて値上げを打ち出す。需要期に入り、新規工事が発注されるにつれ売り腰を強め、市況上伸。</p>
	<p>【下落した資材】 異形棒鋼 九州</p>		<p>製品価格の割高感を主張する需要者と採算悪化を危惧する製販側の姿勢に隔たりは大きく、価格交渉はこう着状態が続いている。九州は、需要者の強い値引き要求を受け入れ、市況下落。</p>
	<p>ストレートアスファルト 全国（那覇除く）</p>		<p>ストアス価格算定期間内の中東産原油価格は下落し、元売会社は卸価格を引き下げた。ディーラーは道路舗装会社との価格改定交渉において卸価格の変動額を反映し、市況下落。</p>
	<p>・セメントや骨材等の原材料価格の上昇が続き、生コン価格の値上げがなかなか追いつかない中、出荷ベースに切り替えたいという組合の意向や交渉は各地で見られるが、まだ需要者には受け入れられていない。</p> <p>・鳥取地区では、鳥取県東部地区生コンクリート協同組合が主体となっているが、出荷量の減少が続く中、2016年の8工場から2021年4月に4工場まで集約している。当該協組に属していない有力工場との競合などで生コンの値上げが難しかったこともあり、組合の強い結束力の下、コスト縮減により収益体質を強化するため集約化が進められた。</p> <p>・審査対象資材のうち、12月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。</p>	<p>&lt;品目&gt; [地区] (理由)</p> <p>【下落した資材】</p> <p>正角材 杉 (KD) 全国</p> <p>平角材 米松 (KD) 全国</p>	<p>木造住宅の需要低迷から荷動きは引き続き低調に推移。輸入材の入荷が順調なため、国産材は在庫が増加し、荷余り感が生じている。価格を下げても在庫を消化する動きが広がり、市況下落。</p> <p>木造住宅の需要低迷から荷動きは低調に推移。米国内の住宅需要減少により産地価格は下落傾向。円安のため価格を維持してきた販売店は、港頭在庫の過剰感から価格を引き下げ、市況下落。</p>

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果
<p>○輸入木材について、価格変動の要因として、現地価格、為替、国内需給等があると思うが、現地価格の情報は得られるのか。</p> <p>○木材価格が、国産材、輸入材とも下落に転じたが、ウッドショックはピークを過ぎたということか。</p> <p>4. その他 (1) 次回開催予定</p>	<p>・販売店や輸入商社からは大まかな価格の動きについては話を聞けるが、具体的な価格水準まではなかなか情報を得られない。統計情報なども含め、入手可能な情報について確認したい。</p> <p>・米国の住宅建設業者協会による住宅市場指数は中立である 50 を下回っていて、先行きの見通しがやや悪化している。米国の住宅ローン金利が 20 年ぶりの水準まで上昇し、住宅需要の減少が予想されるので、米国内で荷余りとなった米材、欧州材が価格を下げて、日本国内にも入ってくる形で、国産の杉材も含め、当面、弱基調で推移すると思われる。</p> <p>・2022 年 12 月 16 日（金）10 時～12 時と決定。</p> <p style="text-align: right;">(以 上)</p>

## 価格審査委員会規約

### (目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

### (委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

### (委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

### (委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

### (委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

### (審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

### (意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。